

十日町市地域公共交通計画の一部変更について

1 概要

現在、国が地域公共交通の維持に対する支援として実施している、「地域公共交通確保維持事業」に基づき、路線バスの運行支援を行っている。

当該補助事業の補助要件の一つに、地域公共交通計画に補助系統等の位置付けが必要であり、当市では、幹線系統補助に 3 路線、フィーダー系統補助に 2 路線を計画に位置付けている。

これまで「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」は、運行状況等の当該補助事業の要件を満たせず、新潟県と沿線自治体で運行支援を行ってきたが、利用者増などにより、補助要件を満たす運行となる。

そのため、「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」を地域公共交通計画に補助系統として位置付け、国補助金の交付を受けて、運行支援を行いたいため、十日町市地域公共交通計画の一部変更を行うもの。

2 計画の変更内容（別紙のとおり）

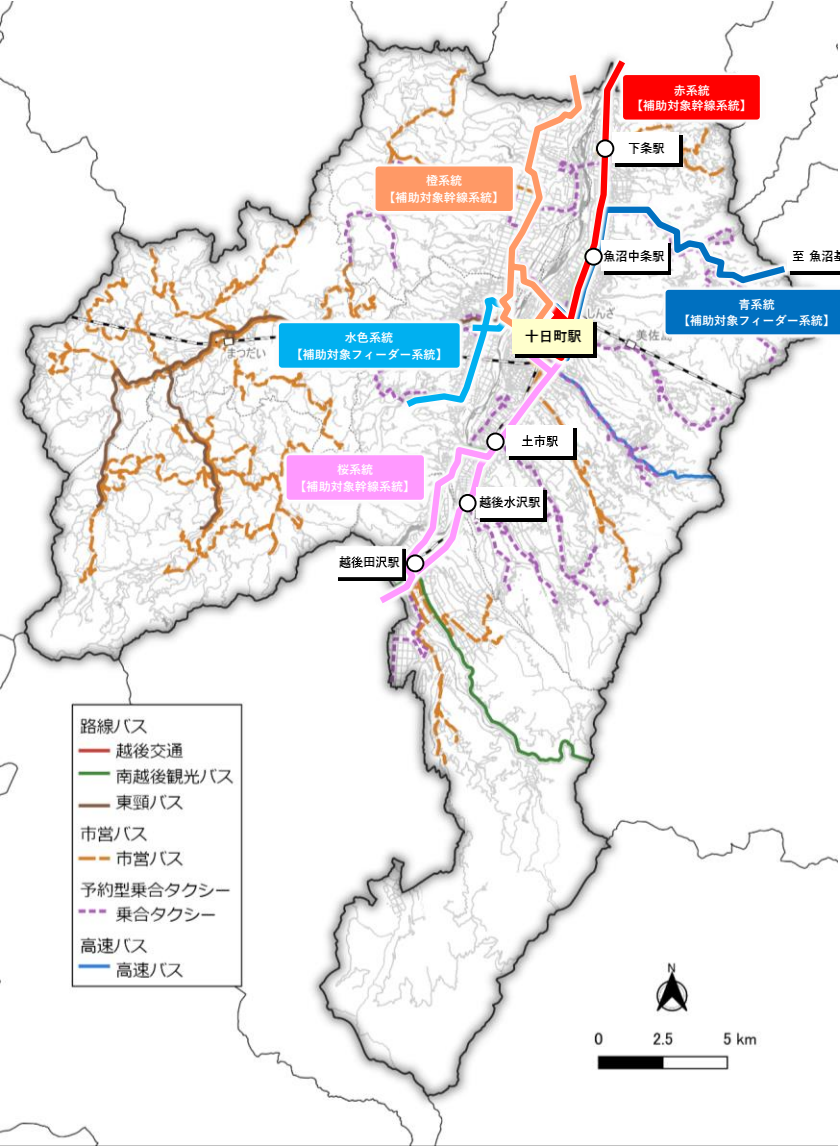
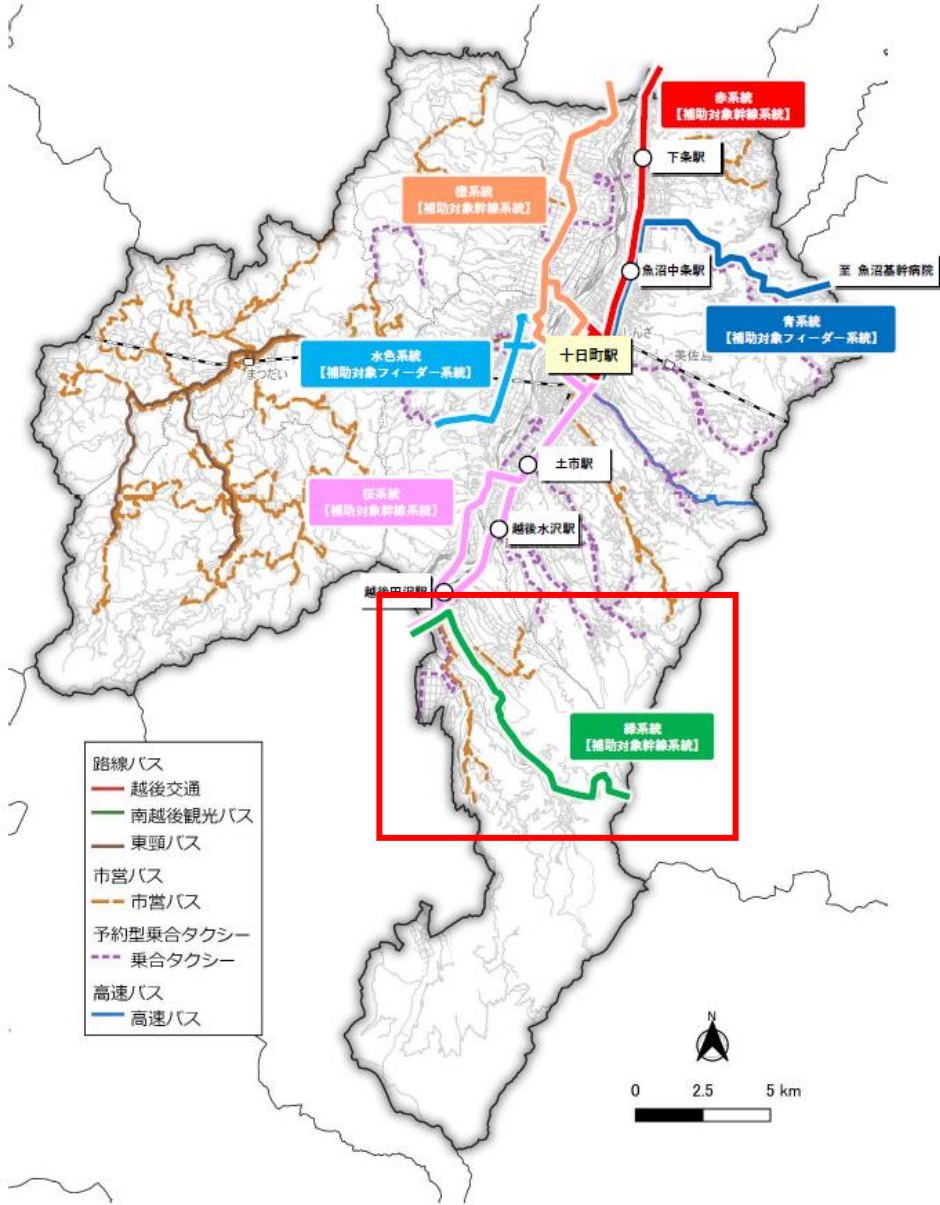
- ・計画 P. 47「補助対象系統の役割・必要性」に「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」の事業概要及び役割・必要性等を追記
- ・計画 P. 48「図 補助対象系統の位置図」に「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」の路線図（緑系統）を追記

3 今後のスケジュール

6 月 9 日（月）	・令和 7 年度第 2 回十日町市地域公共交通活性化協議会 十日町市地域公共交通計画の一部変更に係る協議
6 月中～下旬	・令和 7 年度第 3 回十日町市地域公共交通活性化協議会（書面協議） 地域公共交通計画認定申請書（案）に係る協議
6 月末まで	・国へ地域公共交通計画認定申請書を提出

十日町市地域公共交通計画 新旧対照表

頁	項目	変更理由・内容	変更前	変更後																																																				
P. 47	第 3 章 地域公共交通が目指す方向性 4. 補助対象系統の役割・必要性	<p>○「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」を地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の対象とするため、地域公共交通計画に記載し、地域間幹線系統として位置付ける。</p> <p>○表の 4 行目に「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」の事業概要、役割・必要性等を追記。</p>	<table><tr><th>路線名 (運行区間)</th><th>事業概要</th><th>役割・必要性</th><th>補助事業 の活用</th></tr><tr><td>十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】</td><td>・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 2</td></tr><tr><td>市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】</td><td>・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 2</td></tr></table> <p>※1 国の地域公共交通確保維持事業における「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」を活用 ※2 国の地域公共交通確保維持事業における「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用</p>	路線名 (運行区間)	事業概要	役割・必要性	補助事業 の活用	十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】	・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】	・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 2	市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】	・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線	・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。	※ 2	<table><tr><th>路線名 (運行区間)</th><th>事業概要</th><th>役割・必要性</th><th>補助事業 の活用</th></tr><tr><td>十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線 【次ページ緑系統】</td><td>・交通事業者が運行 ・森宮野原駅(栄村)から越後湯沢駅を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通及び地域間交通の役割を担う。 ・本市と湯沢町、南魚沼市、津南町、長野県栄村を運行し、通勤・通学、観光等の交通手段となっている。特に、通学している方や、清津峡を観光する方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 1</td></tr><tr><td>【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】</td><td>・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 2</td></tr><tr><td>市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】</td><td>・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線</td><td>・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。</td><td>※ 2</td></tr></table> <p>※1 国の地域公共交通確保維持事業における「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」を活用 ※2 国の地域公共交通確保維持事業における「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用</p>	路線名 (運行区間)	事業概要	役割・必要性	補助事業 の活用	十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】	・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線 【次ページ緑系統】	・交通事業者が運行 ・森宮野原駅(栄村)から越後湯沢駅を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通及び地域間交通の役割を担う。 ・本市と湯沢町、南魚沼市、津南町、長野県栄村を運行し、通勤・通学、観光等の交通手段となっている。特に、通学している方や、清津峡を観光する方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1	【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】	・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 2	市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】	・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線	・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。	※ 2
路線名 (運行区間)	事業概要	役割・必要性	補助事業 の活用																																																					
十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】	・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】	・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 2																																																					
市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】	・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線	・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。	※ 2																																																					
路線名 (運行区間)	事業概要	役割・必要性	補助事業 の活用																																																					
十日町＝小千谷＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
十日町＝川西＝小千谷線 【次ページ橙系統】	・交通事業者が運行 ・本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
十日町車庫前＝中里(宮中)＝津南線 【次ページ桜系統】	・交通事業者が運行 ・本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線 【次ページ緑系統】	・交通事業者が運行 ・森宮野原駅(栄村)から越後湯沢駅を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通及び地域間交通の役割を担う。 ・本市と湯沢町、南魚沼市、津南町、長野県栄村を運行し、通勤・通学、観光等の交通手段となっている。特に、通学している方や、清津峡を観光する方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 1																																																					
【快速】十日町車庫前＝新水＝菅沼＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹病院線 【次ページ青系統】	・十日町市が実施主体（運行は南越後観光バス㈱） ・十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線	・広域交通および地域間交通の役割を担う。 ・十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。	※ 2																																																					
市営バス吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予定) 【次ページ水色系統】	・十日町市が実施主体（運行は十日町タクシー協会） ・自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）による運行 ・吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線	・地域間交通の役割を担う。 ・吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活（買物、通院、通勤・通学）を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。	※ 2																																																					

頁	項目	変更理由・内容	変更前	変更後
P. 48	第 3 章 地域公共交通が目指す方向性 4. 補助対象系統の役割・必要性	<p>○「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」を地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の対象とするため、地域公共交通計画に記載し、地域間幹線系統として位置付ける。</p> <p>○図に「森宮野原駅＝津南＝清津峡＝越後湯沢線」の路線図（緑系統）を追記。</p>	<p>図 補助対象系統の位置図</p>  <p>図 補助対象系統の位置図</p>	<p>図 補助対象系統の位置図</p>  <p>図 補助対象系統の位置図</p>

1. 補助対象系統の役割・必要性

基本方針や公共交通ネットワークを踏まえ、補助対象系統の役割・必要性を下表のとおり整理しました。これらの路線について、沿線自治体や事業者の運営努力だけでは、路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する必要があります。

路線名 (運行区間)	事業概要	役割・必要性	補助事業 の活用
十日町＝小千谷 ＝長岡駅前線 【次ページ赤系統】	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が運行 本市から小千谷市、長岡市を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通および地域間交通の役割を担う。 本市と小千谷市、長岡市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。 	※ 1
十日町＝川西＝ 小千谷線 【次ページ橙系統】	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が運行 本市から小千谷市を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通および地域間交通の役割を担う。 本市と小千谷市を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。 	※ 1
十日町車庫前＝ 中里(宮中)＝津 南線 【次ページ桜系統】	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が運行 本市から津南町を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通および地域間交通の役割を担う。 本市と津南町を運行し、買物、通院、通勤・通学の交通手段となっており、特に高齢者や学生などの交通弱者の移動を支えていることから、運行の確保・維持が必要である。 	※ 1
森宮野原駅＝津 南＝清津峡＝越 後湯沢線 【次ページ緑系統】	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が運行 森宮野原駅(栄村)から越後湯沢駅を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通及び地域間交通の役割を担う。 本市と湯沢町、南魚沼市、津南町、長野県栄村を運行し、通勤・通学、観光等の交通手段となっている。特に、通学している方や、清津峡を観光する方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。 	※ 1
【快速】十日町車 庫前＝新水＝菅 沼＝後山＝浦佐 駅東口＝魚沼基 幹病院線 【次ページ青系統】	<ul style="list-style-type: none"> 十日町市が実施主体(運行は南越後観光バス(株)) 十日町市街地～魚沼基幹病院を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通および地域間交通の役割を担う。 十日町市街地から魚沼基幹病院までの移動手段として、市民の日常生活(買物、通院、通勤・通学)を支えている。特に通院している方にとって重要な路線であることから、運行の確保・維持が必要である。 	※ 2
市営バス 吉田線 (令和 6 年 4 月 1 日から運行予 定) 【次ページ水色系統】	<ul style="list-style-type: none"> 十日町市が実施主体(運行は十日町タクシー協会) 自家用有償旅客運送(交通空白地有償運送)による運行 吉田地域～十日町市街地を結ぶ定時定路型の路線 	<ul style="list-style-type: none"> 地域間交通の役割を担う。 吉田地区から十日町駅周辺までの移動手段として、市民の日常生活(買物、通院、通勤・通学)を支えている。十日町駅や本町 3 丁目で鉄道と接続することで、広域交通や地域間交通を利用することができ、地域住民の生活の要となる路線であることから運行の確保・維持が必要である。 	※ 2

※ 1 国の地域公共交通確保維持事業における「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」を活用

※ 2 国の地域公共交通確保維持事業における「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用

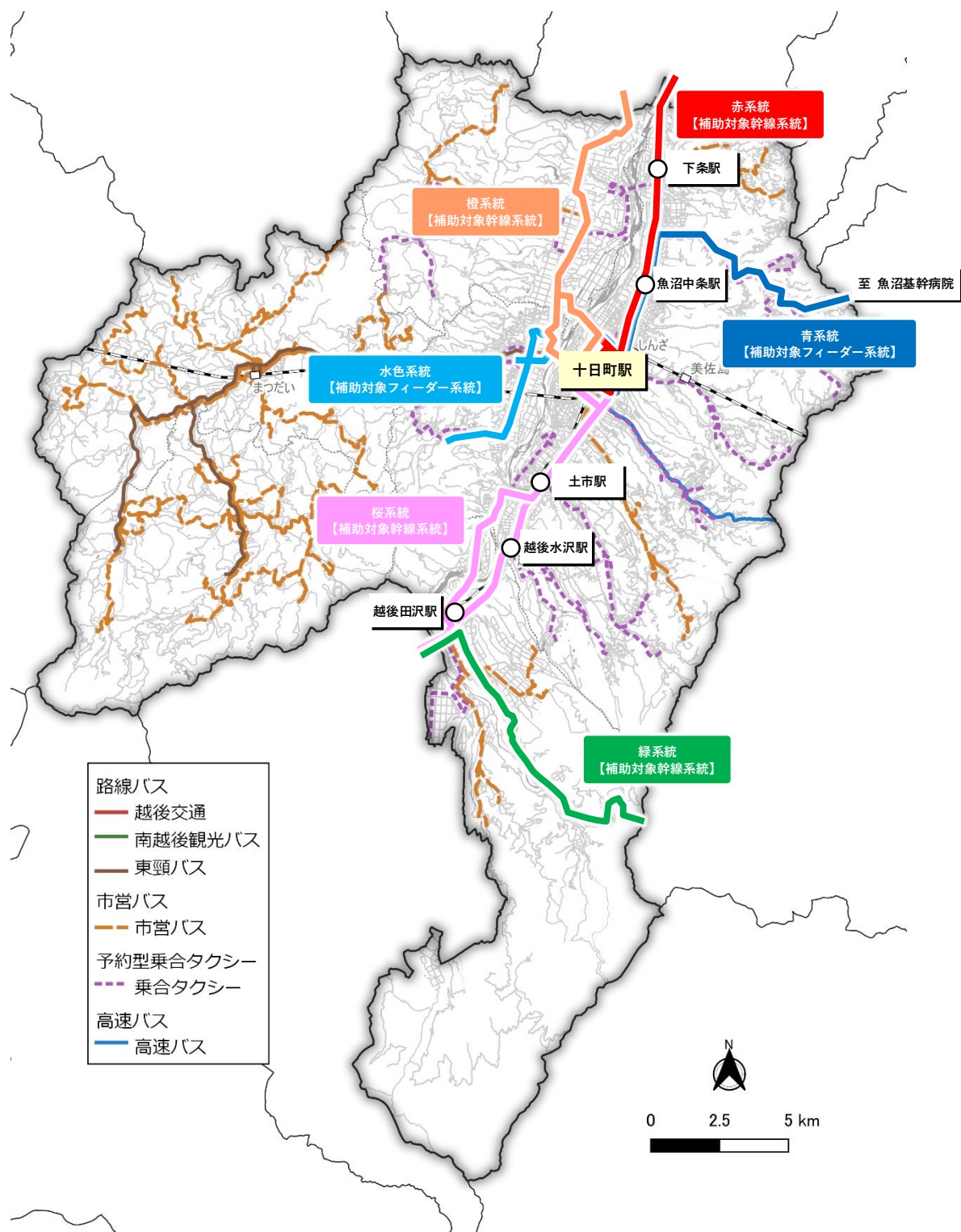


図 補助対象系統の位置図